

看護研究バックナンバー(内容紹介)

JAN
FEB

Vol.
47
No.
01

特集 | 看護学において若手研究者をどう育てるか? (I)

- 将来の看護学を構築する卓越した若手研究者をどう育てるか 吉沢豊予子
- アジアにおける若手研究者育成の方略 牧本清子

【学協会、大学院の立場から若手研究者の育成を考える】

- 日本学術会議、日本看護科学学会の立場からの提言—課題と展望 小松浩子
- 看護学研究者をどう育てるか?—日本看護研究学会の見解と方針 中木高夫
- 千葉大学大学院看護学研究科長としての立場からの提言 宮崎美砂子

●特別記事

断片投稿とおすすめ著者資格—教員評価システムと学位審査制度がおよぼす影響 中木高夫

●連載

統計学のキー・ポイント—「検定」に焦点を当てて・1(新連載) 検定の基本的な考え方 高木廣文
看護における質的研究の前提と正当性・7 研究についての〈現実〉(前編) 家高洋
Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために⑬ 教養としての研究と読書 江藤裕之

NOV
DEC

Vol.
46
No.
07

特集 | Person-centred Care の理論の現状と看護研究としての展望

- Person-centred Care の理念と動向 鈴木みずえ
- Person-centred Care をめざした認知症ケアマッピング(DCM)の理論と海外の動向 水野裕
- Person-centred Care をめざした認知症ケアマッピングにおける研究の動向
田島明子, 鈴木みずえ
- ケアスタッフの Person-centred Care の意識や実践を測定するための尺度の開発に関する研究の動向 内田達二, 鈴木みずえ
- 地域における認知症ケアマッピング(DCM)を用いた施設間相互評価の有効性
桑野康一, 鈴木みずえ, 下山久之, 遠藤英俊
- 急性期病院における Person-centred Care をめざした高齢者集団ケアの取り組み—認知症ケアマッピング(DCM)の導入と展開 吉村浩美, 鈴木みずえ, 高木智美, 江上直美

●連載

看護における質的研究の前提と正当性・6 看護研究におけるケースの知の意義(後編) 家高洋
Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために⑫
認識されたものを認識する—フィロロジーについて 江藤裕之

SEP
OCT

Vol.
46
No.
06

特集 | 看護研究におけるテキストマイニング(Ⅱ)

- ソーシャルメディア上のビッグデータを分析して—乳児をもつ母親の関心事 井田歩美, 猪下光
- テキストマイニングによる成功率の高い禁煙プログラムの会話構造の特徴 大野佳子, 磯村毅
- チーム医療をテキストマイニングする—地域での栄養サポートチームにおける歯科専門職の役割に注目して 柴崎美紀, 小原由紀, 澁谷英介, 本田彰子
- 国際看護学への挑戦をテキストマイニングする 西川まり子, 村田直己, 小櫻愛美

●特別記事

看護師がメタファーを語る意味—認知言語学の視点からテキストマイニングを用いて考える
服部兼敏, 東山弥生

●研究報告

インド中部州における Auxiliary Nurse Midwife(ANM)の業務遂行上の体験に関する研究
樋口まち子

●連載

看護における質的研究の前提と正当性・5 看護研究におけるケースの知の意義(前編) 家高洋
Words, words, words. 研究と言語—質的研究のために⑪ 言語学のなりたち 江藤裕之

